

自治会アンケート調査 まとめ

平成29年3月

日野市企画部地域協働課

はじめに

日頃より市政の運営につき格段のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
また本調査においても、お忙しい中、ご協力いただいた多くの自治会長及び役員の皆様には心から感謝申し上げます。

このまとめを今後の自治会活動の参考にお役立ていただくとともに、コミュニティ行政にも活かしていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

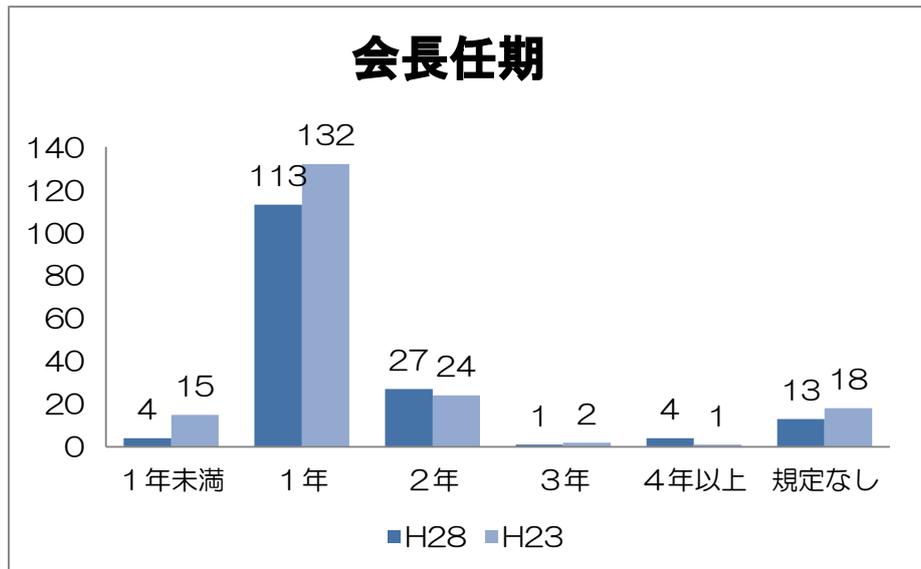
平成29年3月

日野市企画部地域協働課

自治会アンケート調査概要

対 象：日野市内全自治会（243団体）
方 法：郵送によるアンケート調査
時 期：平成28年4月
回 収 率：66.7%（162件）

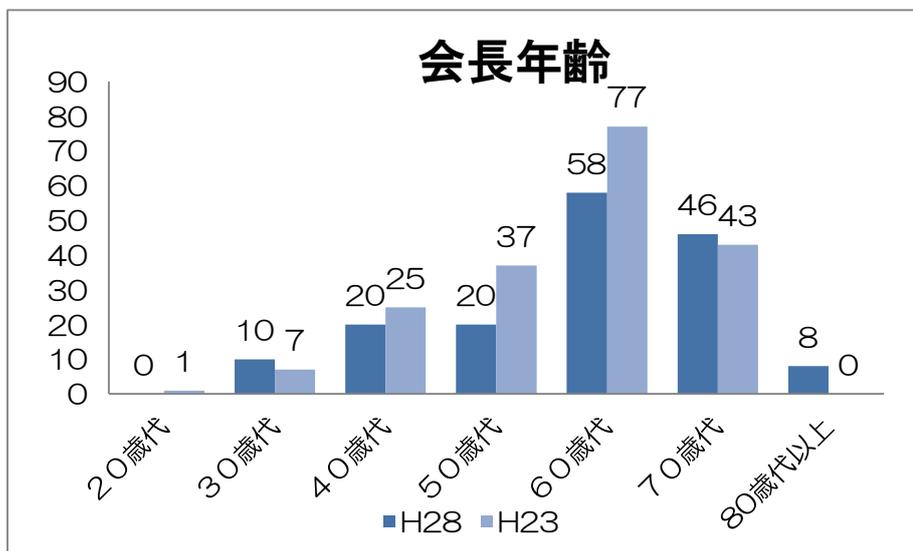
問1：自治会長の任期についてお聞きします。



自治会長の任期は、「1年」という自治会が一番多く、「1年未満」と合わせると、7割程度を占めています。

会長（役員）任期は、短いほうが役員を引き受けやすくなり、多くの方に自治会長を経験してもらうことができるといった面があります。一方で任期を複数年とすることにより経験、知識を生かすことができることも考えられます。

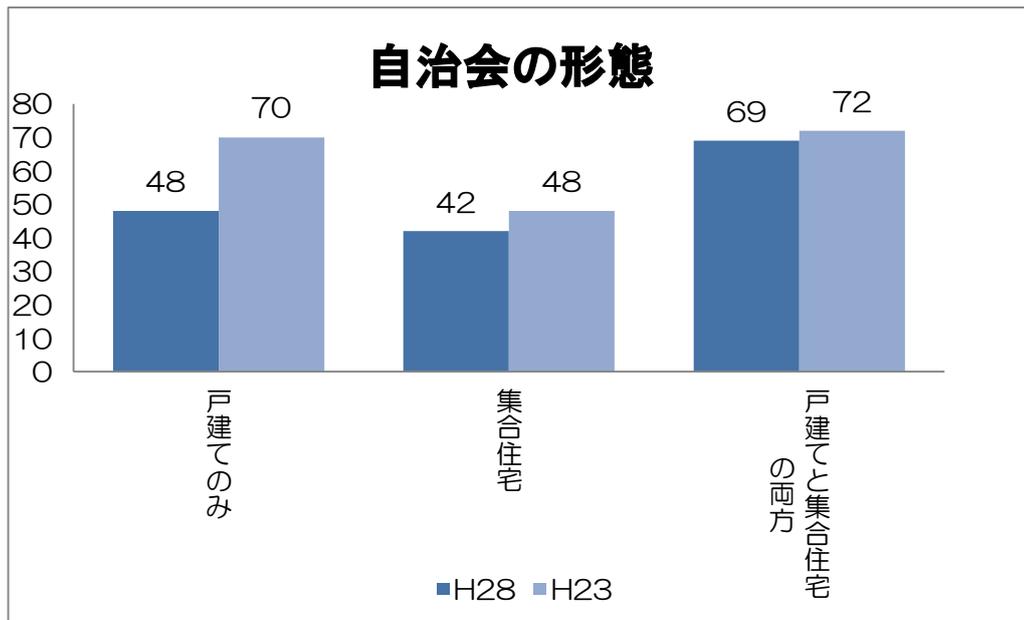
問2：現在の自治会長の年齢についてお聞きします。



自治会長の年齢は「60歳代」以上が7割程度を占めています。

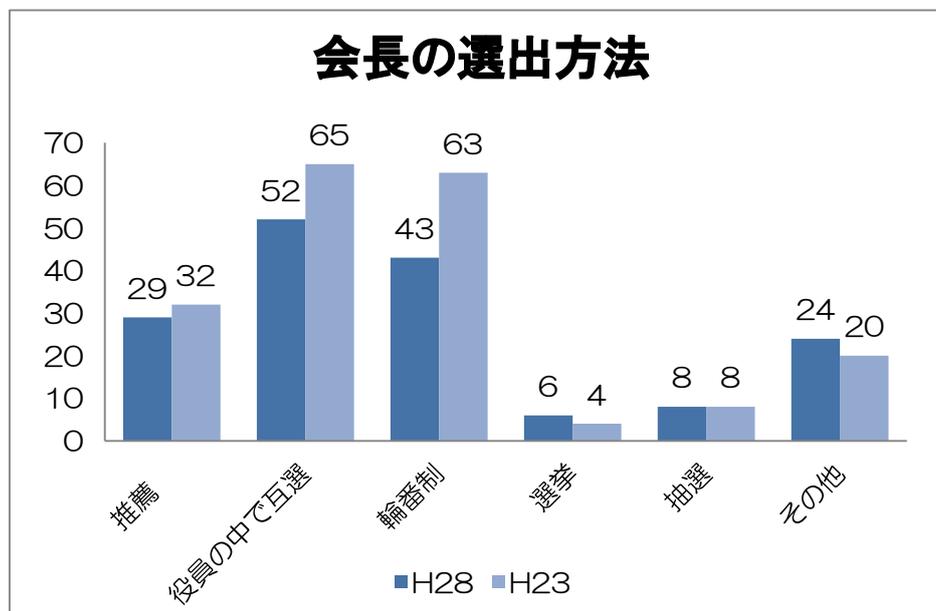
今まで培ってきた人生経験を生かして地域活動に目を向けた取り組みに着手する方が増えているようです。30歳代の自治会長が増えたことも大きな変化かもしれません。

問3：自治会の形態についてお聞きします。



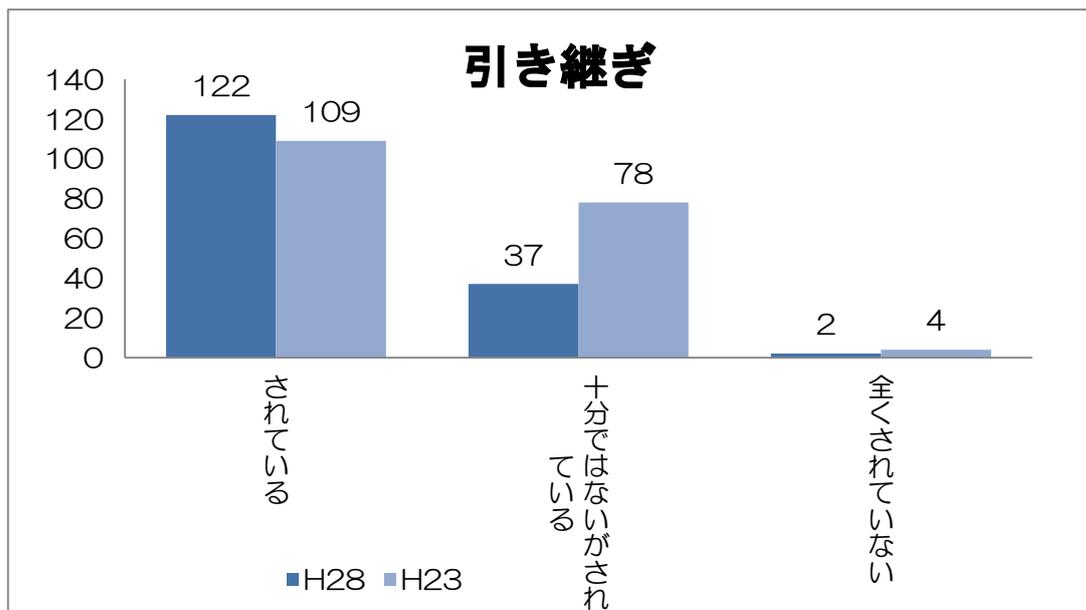
自治会の形態は「戸建て中心」の自治会が減り、「集合住宅中心」や「戸建てと集合住宅混合」の自治会はおおよそ横ばいです。

問4：自治会長の選出方法についてお聞きします。



会長の選出方法は「推薦」「役員の中で互選」が約半数を占めています。次に多いのが「輪番制」となりますが、「会長がまわってくると会員が自治会をやめてしまう」という意見もあり、「輪番制」が減少傾向にあります。やはり会長の選出方法は自治会活動の大きな課題となっているようです。

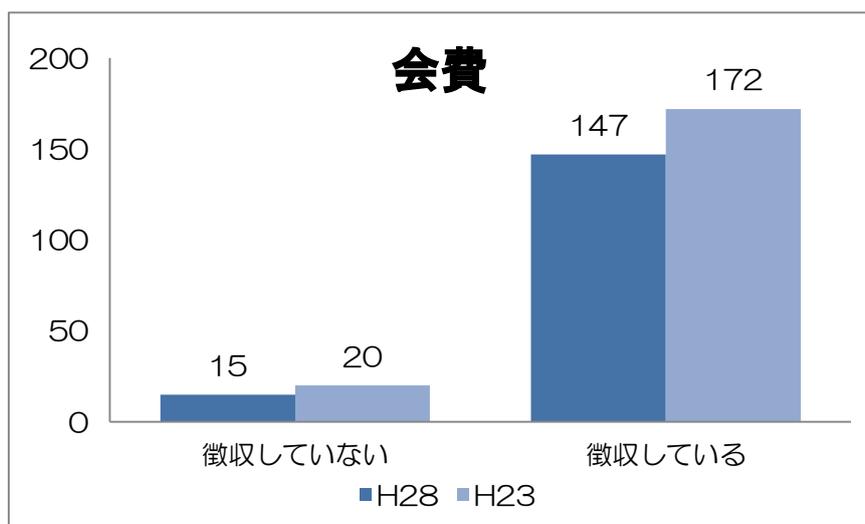
問5：役員交代時の引き継ぎについてお聞きします。



「引き継ぎ」については、ほぼ行われているようです。平成23年と比較すると、「十分ではないがされている」が減り、「されている」が増えていることから自治会活動の大切さを十分理解し、責任感をもって活動していただいていることがわかります。

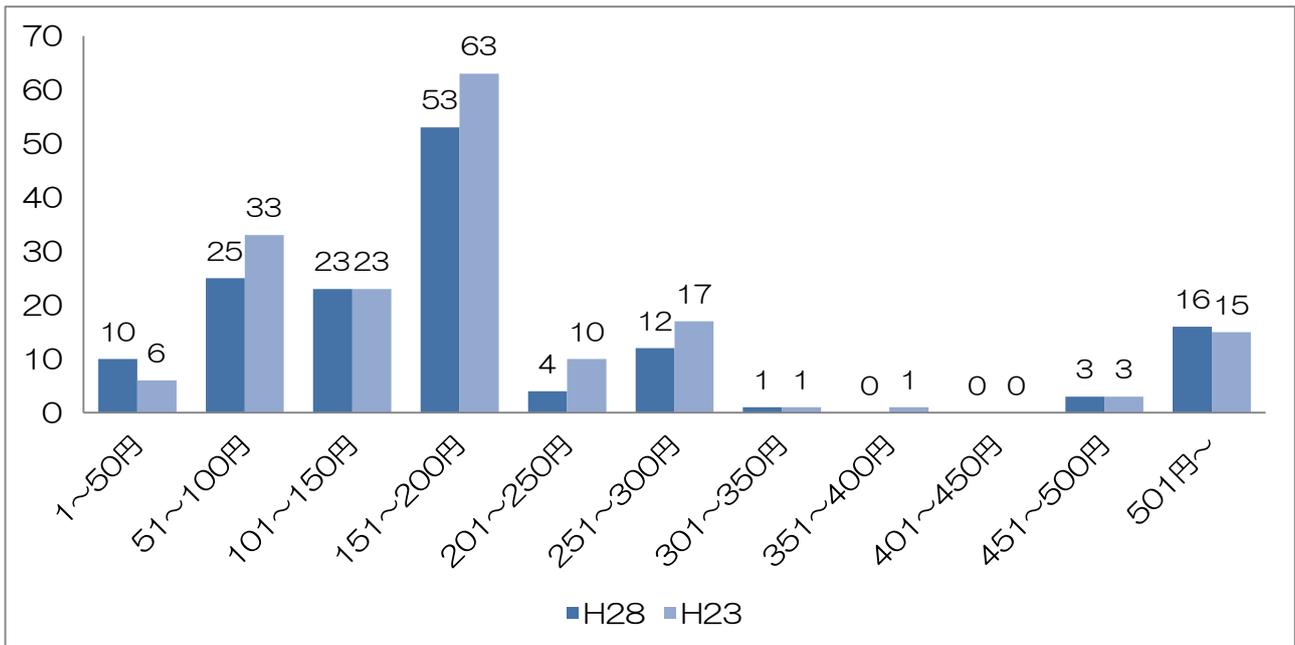
引き継ぎ方法については紙ベースのマニュアルや資料などを活用している自治会が約半数を占め、電子データでの引き継ぎは1割程度です。

問6：会費についてお聞きします。



約9割の自治会が会費の徴収を行っています。

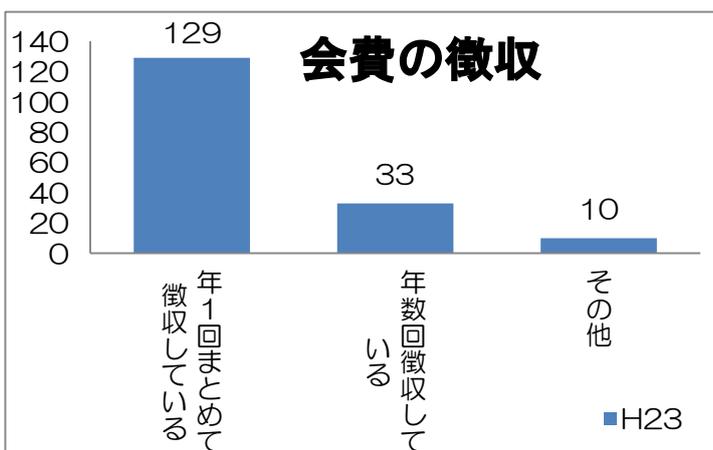
会費の額



会費は月額換算で「200円」の自治会が一番多いようです。月500円以上集めている自治会の中には、会費の中に集合住宅の管理費・共益費が含まれているため高く設定されているケースがあるようです。また、単身者を対象に会費を減額し徴収している自治会もあるようです（自治会加入を促進するため）

*会費は、集計上すべて月額にて換算しています。

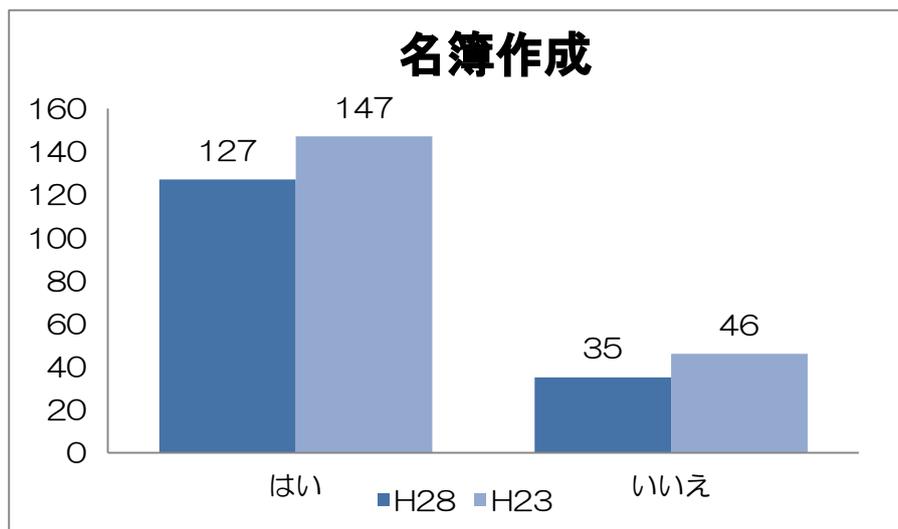
徴収方法



複数回の回数	団体数
年2回	13
年3回	1
年4回	1
年10回	1
年12回	17

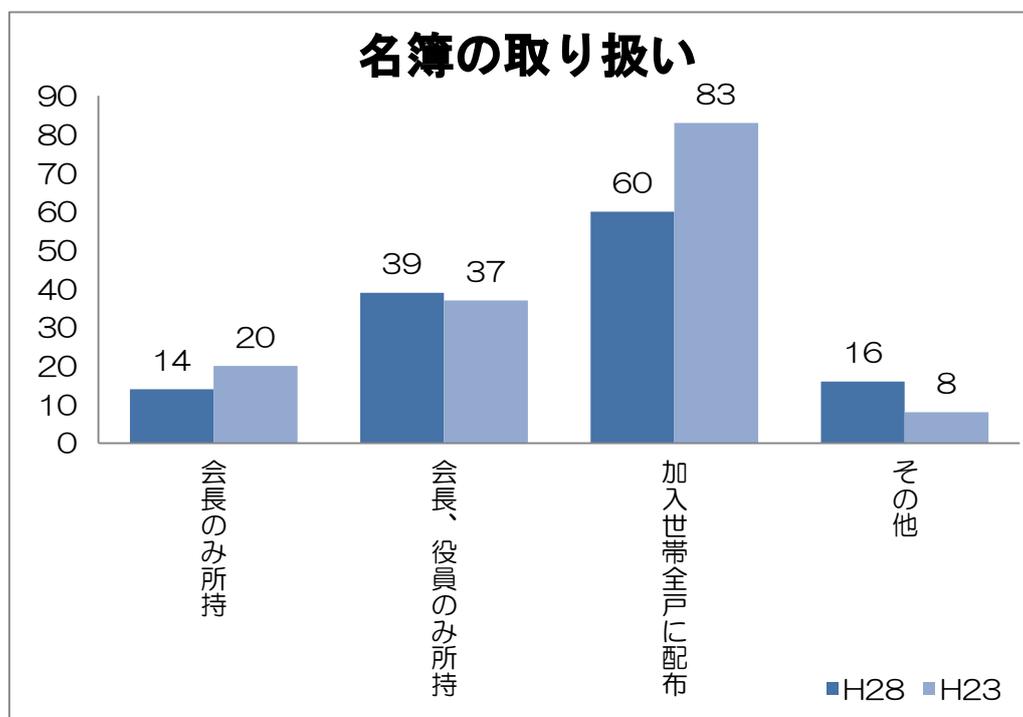
会費の徴収方法は「年1回」まとめて徴収しているケースが75%を占め、多くの自治会が「年1回」徴収しているようです。会員の申し出により一括払い、月払いの選択制をとっている自治会や、組長によって徴収方法を選択させている自治会もあるようです。

問7：会員名簿の作成についてお聞きします。



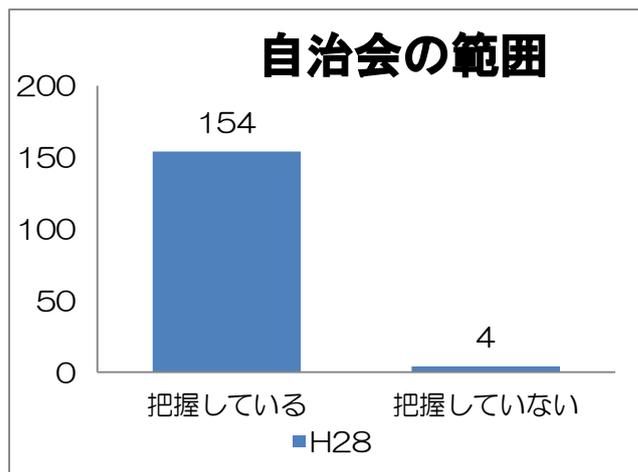
8割程度の自治会にて会員名簿を作成しているようです。会員名簿の取り扱いは、個人情報保護の観点からも重要文書と考えられます。更新された際、過去の名簿の廃棄方法も含め、自治会内で安全対策が必要です。

問8：名簿の取扱いについてお聞きします。



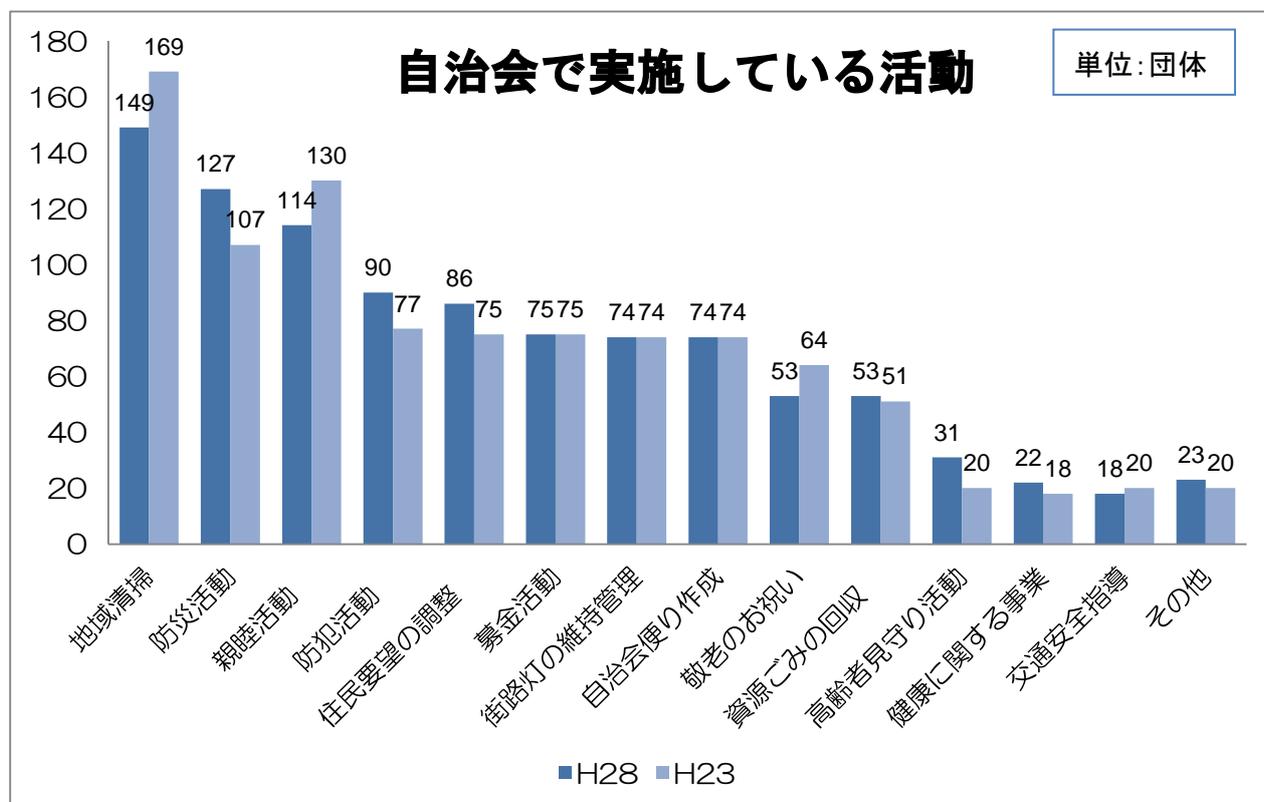
名簿については「加入世帯全戸に配布している」自治会が約5割となっています。「会長」や「会長、役員のみ」など一部の役員が所持している自治会もあるようです。

問9：自治会の範囲についてお聞きします。



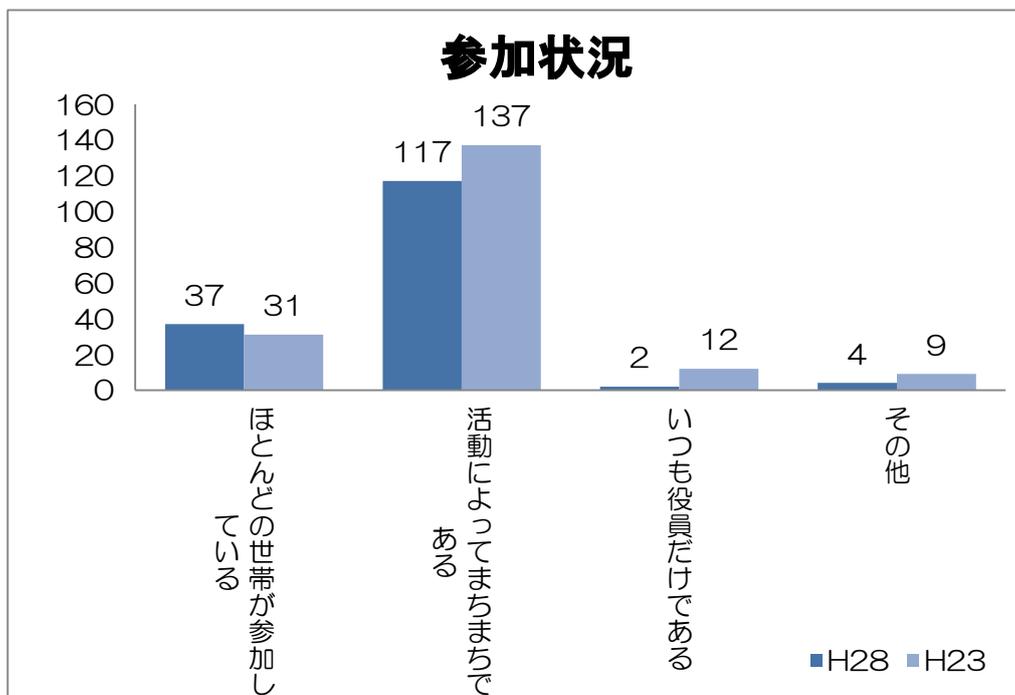
範囲を把握している自治会は95%でした。範囲は公官庁への届け出の義務がないことや引き継ぎをしていないまた範囲の境目があいまいということが課題なのかもしれません。

問10：自治会で実施している活動についてお聞きします。



近年各地で多発している地震から危機意識が生まれ、防災・防犯活動に重点を置きたいという自治会が増えています。また高齢者の見守りや健康に関する活動も活発化しているようです。地域清掃については、地域の環境美化につながるだけでなく、近隣とのコミュニケーションや防犯に役立っているという意見もありました。

問 1 1：自治会活動の際の会員参加状況についてお聞きします。

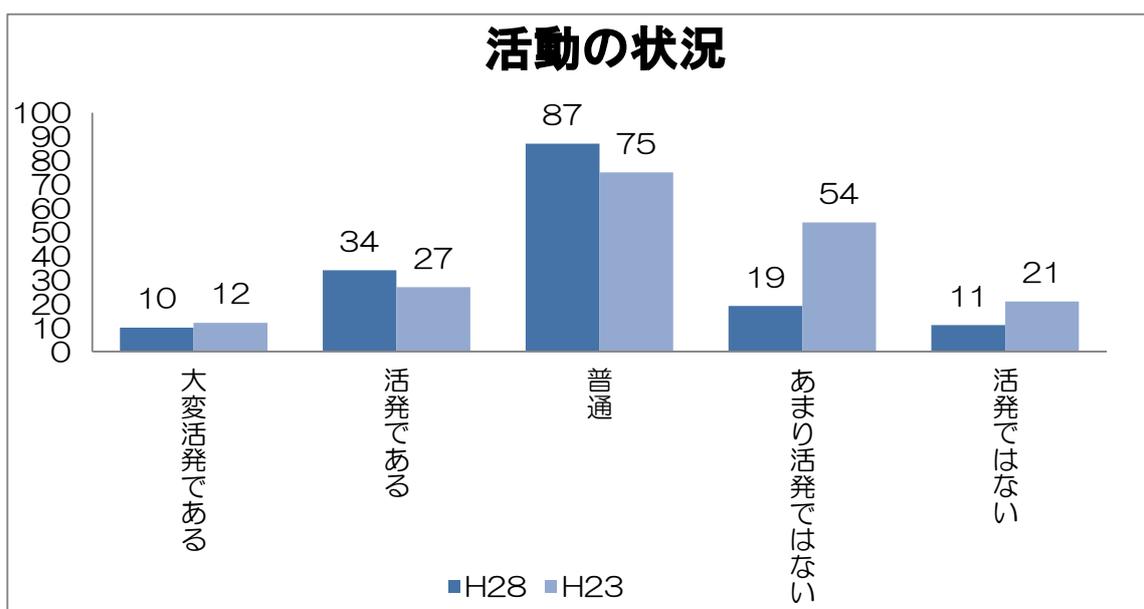


活動の参加状況に大きな変化はないようです。

平成 23 年度と比べると「いつも役員だけで行っている」が 1%に減り、「ほとんどの世帯が参加している」が 23%へ増えています。

地域のつながりが希薄になっているなど地域のコミュニティ力の低下が指摘されている昨今ですが、各自治会の熱心な活動のおかげで自治会活動の重要性が再確認されたのではないかと思います。

問 1 2：貴自治会の活動についてお聞きします。



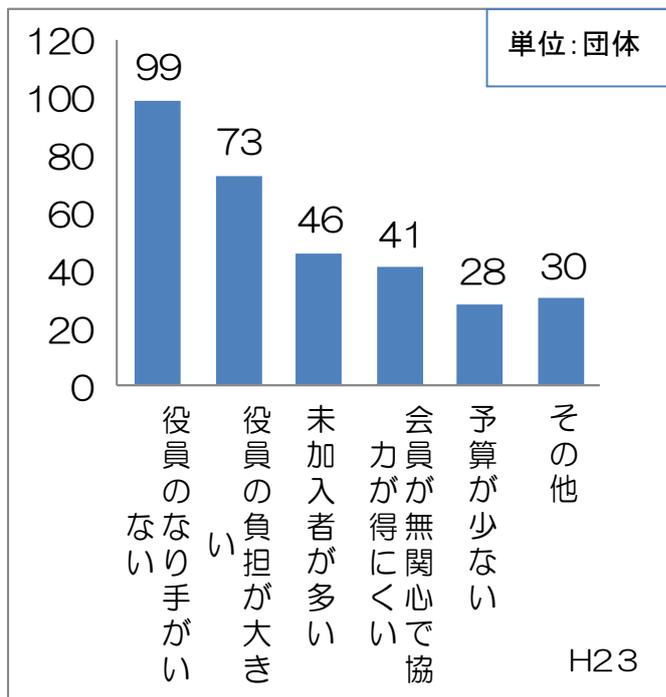
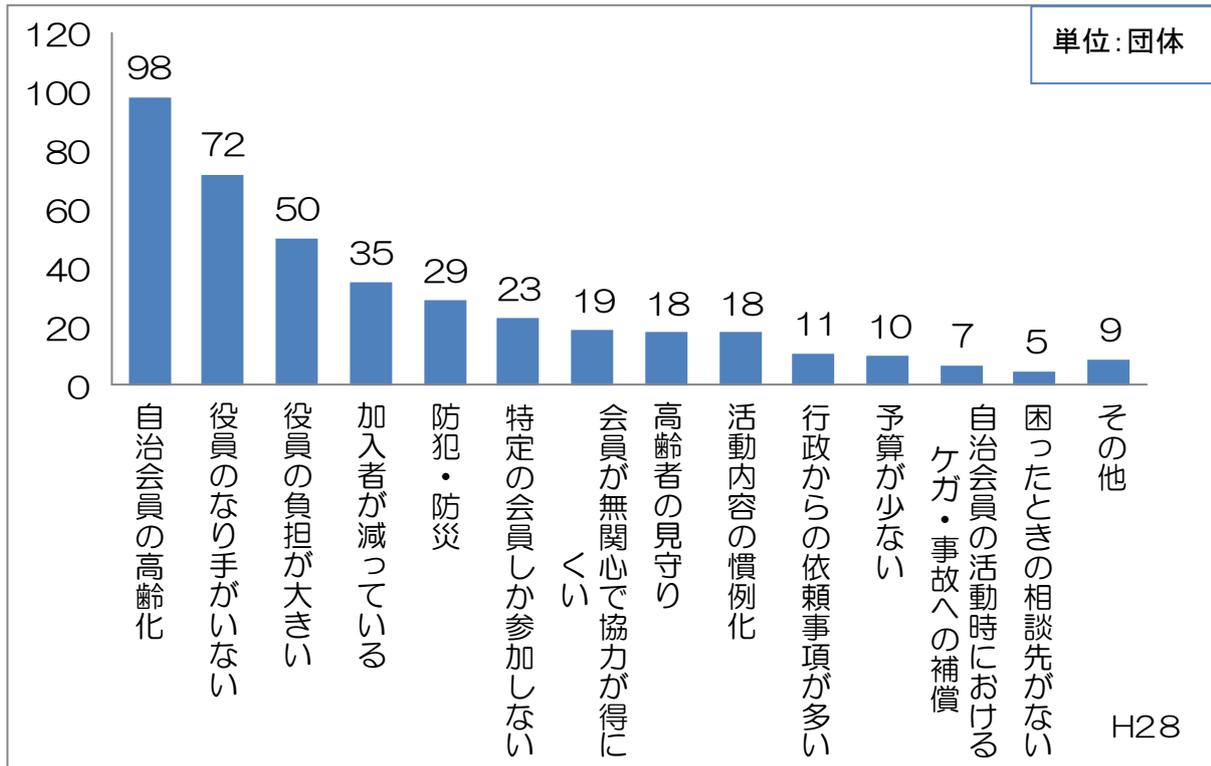
「活動が活発（もしくは普通）」であると回答した自治会は約 8 割となりました。平成 23 年度より約 2 割上昇しています。「あまり活発ではない」「活発ではない」と回答した自治会が大幅に減少したことは地域活動の重要性が再確認されたからかもしれません。

問13：自治会活動の活性化のための工夫についてお聞きします。

	回答数 (平成28年)	回答数 (平成23年)
清掃活動や防災訓練などの際に、親睦会や参加賞配布のような「楽しみ」をプラスした活動を実施している	18%	16%
積極的なあいさつや声かけをするなど、あいさつできるコミュニティづくりを実施している	18%	11%
自治会の活動目標やメリット（利点）を明確にし、それを会員と共有している	15%	15%
活動結果をニュースなどで報告している	13%	14%
一部の人の負担とならないよう、サポート役員を配置するなど、より多くの人がかかわれる運営体制づくりをしている	9%	9%
地域活動の展開のため、近隣自治会などとの連携を行っている	8%	11%
役員だけではなく、実行委員会などによる行事の企画運営を行っている	8%	10%
若い子育て世代や単身世帯の人たちのニーズを聞くなど、多様な層が参加しやすくなるような工夫をしている	6%	5%
その他	3%	4%
自治会活動を担う後継者の育成を行い、活動が継続しやすくしている	2%	5%
全体	100%	100%

“清掃活動や防災訓練などの際に、親睦会や参加賞配布のような「楽しみ」をプラスした活動を実施している”や“積極的なあいさつや声かけをするなど、あいさつできるコミュニティづくりを実施している”自治会が多いようです。地域コミュニティへ気軽に参加できる関係性を作ること（＝ゆるやかなつながり）が新しいコミュニティの鍵になるのかもしれない。

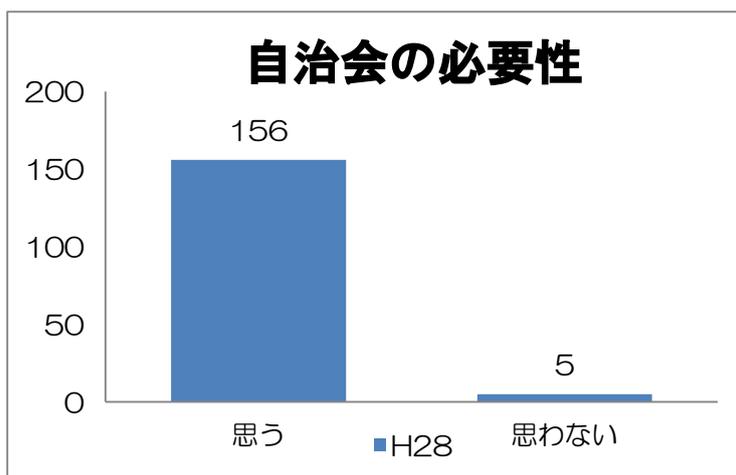
問14：自治会を運営する中での悩みについてお聞きします。



自治会の悩みは多種多様のようなのですが「役員の高齢化」「役員のなり手」「役員の負担が大きい」と役員に関することが上位を占めています。

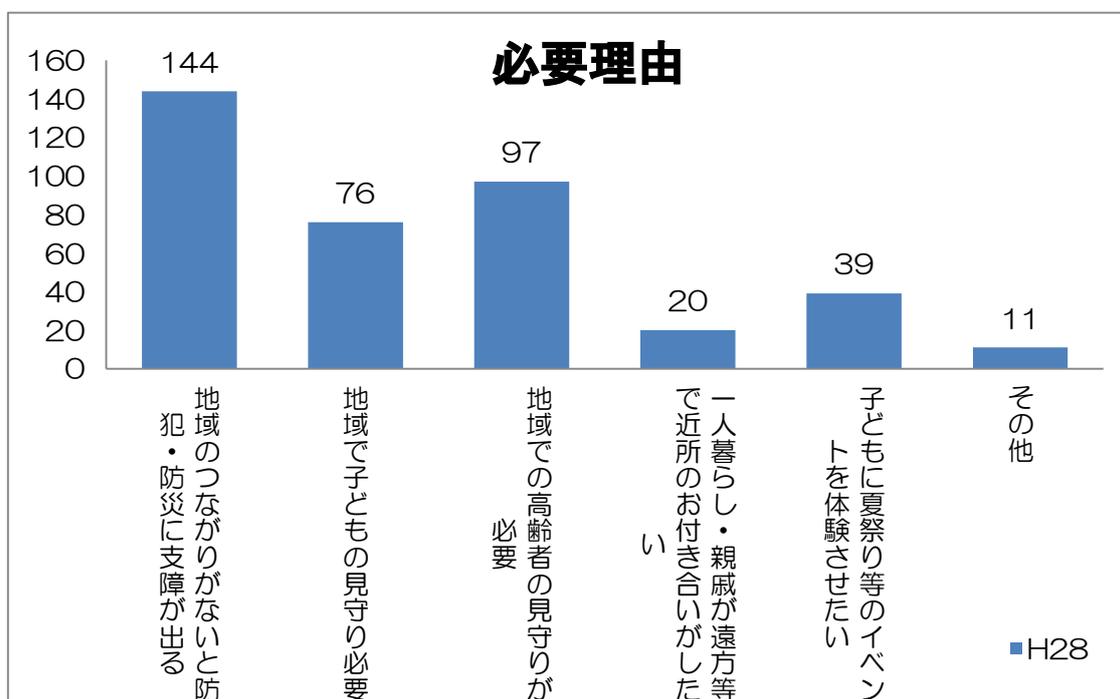
自治会活動は役員の負担を減らすことが改善のポイントとなるかもしれません。

問15：自治会活動の必要性についてお聞きします。



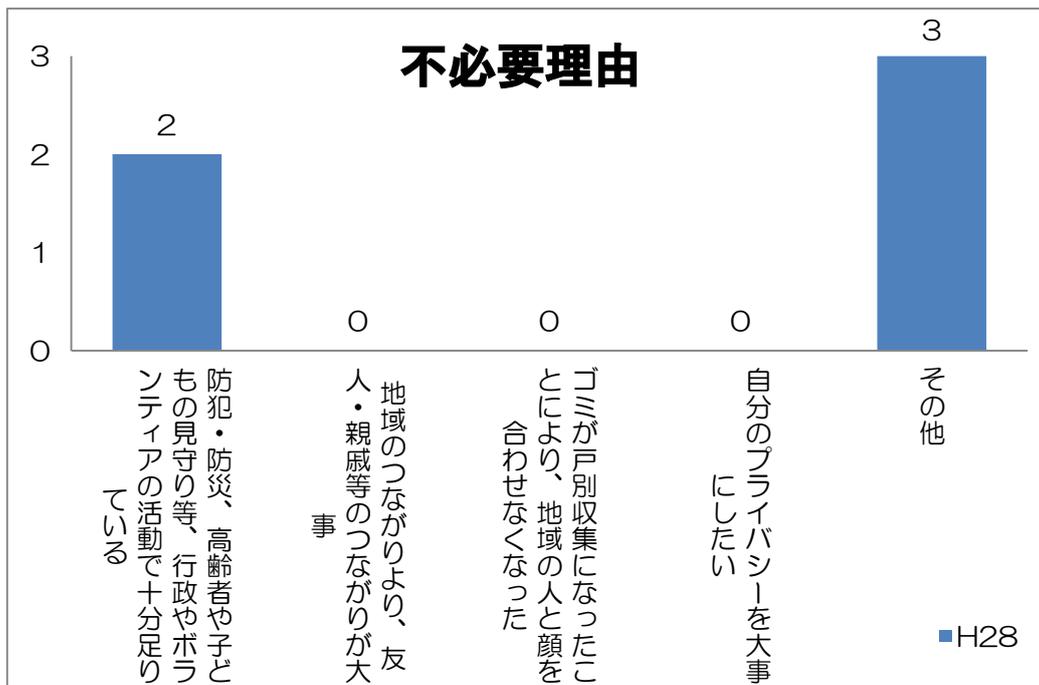
多くの方が自治会を必要だと考えているようです。

問16：自治会活動は必要だと思う理由についてお聞きします。



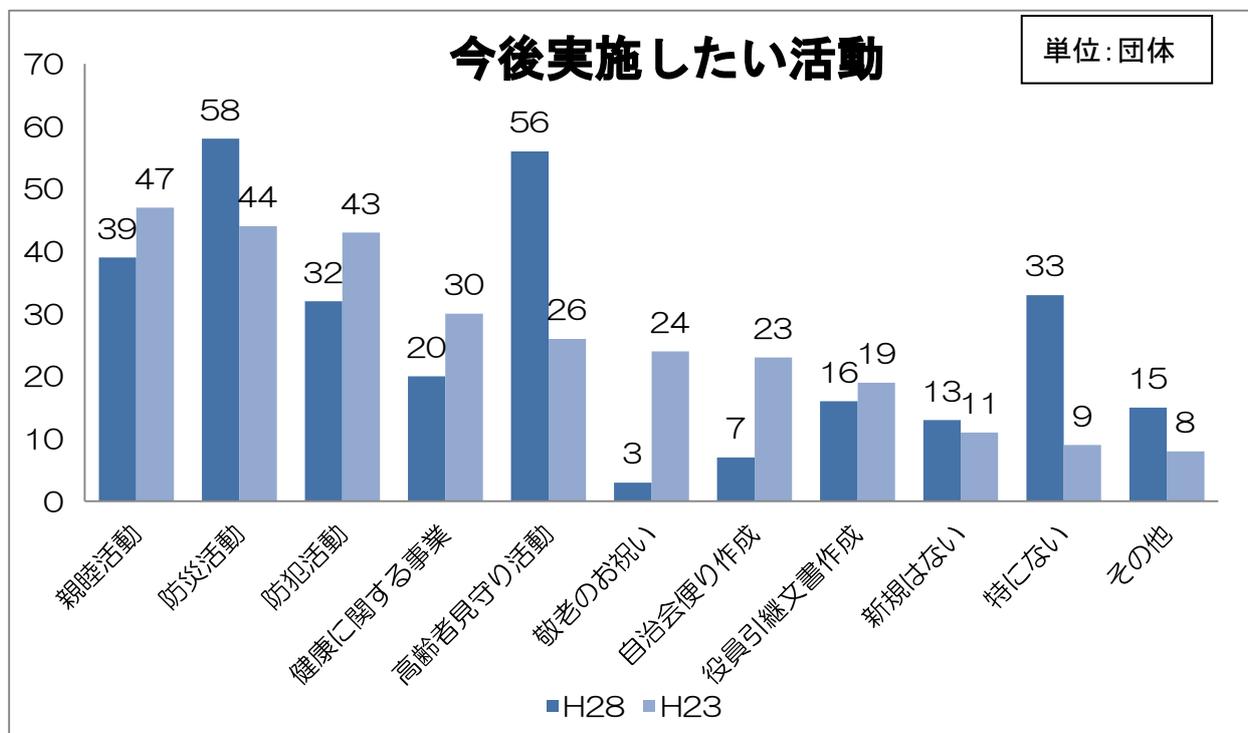
必要理由として挙げられるものはすべて「顔の見える関係性作り（つながり）」で解決できるものばかりです。改めて地域コミュニティの重要性が浮き彫りになりました。

問17：自治会活動は必要だとは思わない理由についてお聞きします。



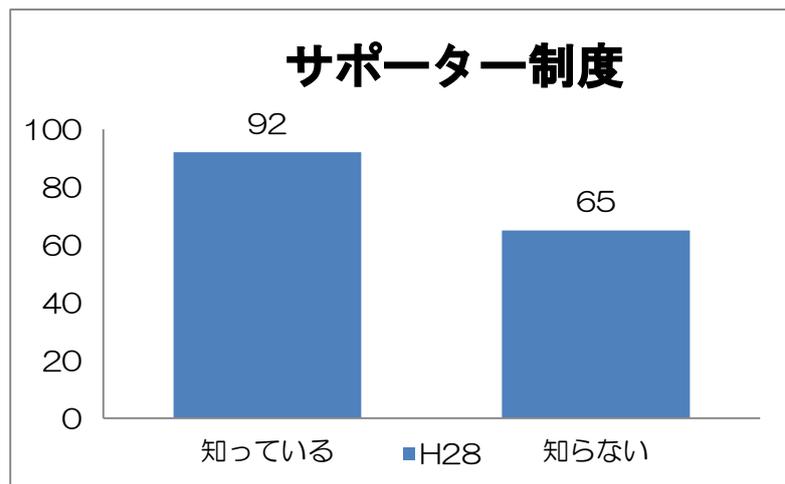
自治会が不要であるという回答が3%ありました。その理由として「管理組合の活動と同じ」という意見と「世の中インターネット等情報取得が容易になり、無関心者が増えたので自治会の存在意味が薄れている」という意見がありました。

問18：自治会で今後新たに取り組みたい活動についてお聞きします。



「高齢者の見守り活動」が大幅に増えています。自治会より「避難行動要支援者制度」の説明会の依頼が増えていることから関心の高さがうかがえます。

問19：地域サポーター制度を知っていますか。



地域サポーター制度を知っていると回答した自治会は約6割でした。

地域サポーターとは各自治会に対し市職員が1名ずつ配置され、地域と市のパイプ役を担うことを目的としています。

地域の情報や課題を市職員が共有することにより自治会や地域のサポートを行い、職員として行政の場にその経験を生かして業務を行っていくものです。

もし地域サポーターを地域の活動で見かけましたら是非お声掛けください。

自治会アンケート調査のまとめについて

発行日 平成29年3月

編集・発行 日野市企画部地域協働課

〒191-0011

日野市日野本町1-6-2

日野市生活・保健センター内

TEL. 581-4112